

マイクロコンピュータ技術情報

技術通知 78K0シリーズ用 オンチップ・ディバグ・エミュレータ QB-78KOMINI 使用制限事項の件		発行番号	ZBG-CD-04-0068号	1/2
		発行日	2004年 9月 24日	
		発行元	NECエレクトロニクス株式会社 第三システム事業本部 汎用マイコンシステム事業部 開発ツールグループ <div style="float: right; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;"> 本 </div>	
文書分類	○ 使用制限事項	バージョン・アップ	ドキュメント誤記訂正 (正誤表)	その他
関連資料	QB-78KOMINI ユーザーズ・マニュアル			
	資料番号：U17029JJ2V0			

CP (K), 0

1. 対象製品

QB-78KOMINI 管理記号^注：A, B, C

2. 新たな制限事項

今回新たに No. 1 の制限事項を追加させていただきました。詳細は、別紙を参照して下さい。

3. 回避策

詳細は、別紙を参照して下さい。

4. 改善計画

No. 1 について下記日程で改善することを計画しております。

新規出荷品	2004年 7月出荷分より (管理記号：C)
出荷済みバージョン・アップ	2004年 10月

★本日程については予告無し変更する場合がございますので、改善品のリリース日程については、別途、弊社営業までお問い合わせください。

注) 管理記号とは、ご購入時 (バージョン・アップを行っていない場合) は、製品添付の保証書に記載されている10桁のシリアル・ナンバーの左から2桁目の記号です。バージョン・アップを行っている場合は、バージョン・アップ・ラベルが本体に貼ってあり、その中に記載されている V-UP X の X が管理記号になります。管理記号B、管理記号Cは機能的に同等です。

5. 制限事項一覧

添付の別紙をご参照ください。

6. 発行文書履歴

78K0シリーズ用オンチップ・ディバグ・エミュレータQB-78KOMINI 使用制限事項一覧

文書番号	発行日	記事
ZBG-CD-04-0068	2004.9.24	新規不具合追加(No.1)

以上

QB - 78KOMINI 使用上の注意

CD-ROM(ID78K0-QB Disk V2.81 2004.6.22)に同梱されている「QB-78KOMINI (管理記号 A) 使用上の注意 文書番号 SUD-DT-04-0157」は旧版の文書になります。本文書をご参照ください。

1. 製品バージョン

管理記号 ^注	備考
A	
B	
C	

注) 管理記号とは、ご購入時(バージョン・アップを行っていない場合)は、製品添付の保証書に記載されている10桁のシリアル・ナンバーの左から2桁目の記号です。バージョン・アップを行っている場合は、バージョン・アップ・ラベルが本体に貼ってあり、その中に記載されている V - U P X の X が管理記号になります。管理記号B、管理記号Cは機能的に同等です。

2. 製品履歴

	仕様変更・追加 / 不具合事項	管理記号	
		A	B C
1	ディバッガ起動前にターゲット・デバイスのフラッシュ・データが消去される不具合	x	

x : 該当する : 該当しない

3. 不具合および仕様変更事項詳細

No.1 ディバッガ起動前にターゲット・デバイスのフラッシュ・データが消去される不具合

【内容】0x84番地の値を0x03、且つIDコードが全て0xFF以外の条件で、本製品とPCをUSB接続しターゲット電源投入を行うと、ターゲット・デバイスのフラッシュ・データが消去されます。

【回避策】0x84番地の値を0x02に設定してください。
管理記号B以上で修正されております。

4 . 注意事項

- ・ユーザーズ・マニュアル「3.1.2 ターゲット用クロック・ソケット」の注意項目に追記があります。
(下線部追記)
注意 ターゲット用クロック・ソケットにクロックを実装、及び取り外しする際は、エミュレータの電源を切断した状態で行ってください。また、ディバuggのコンフィグレーション・ダイアログで“MainClock”を“system”に選択する場合はクロック・ソケットにクロックを実装しないでください。

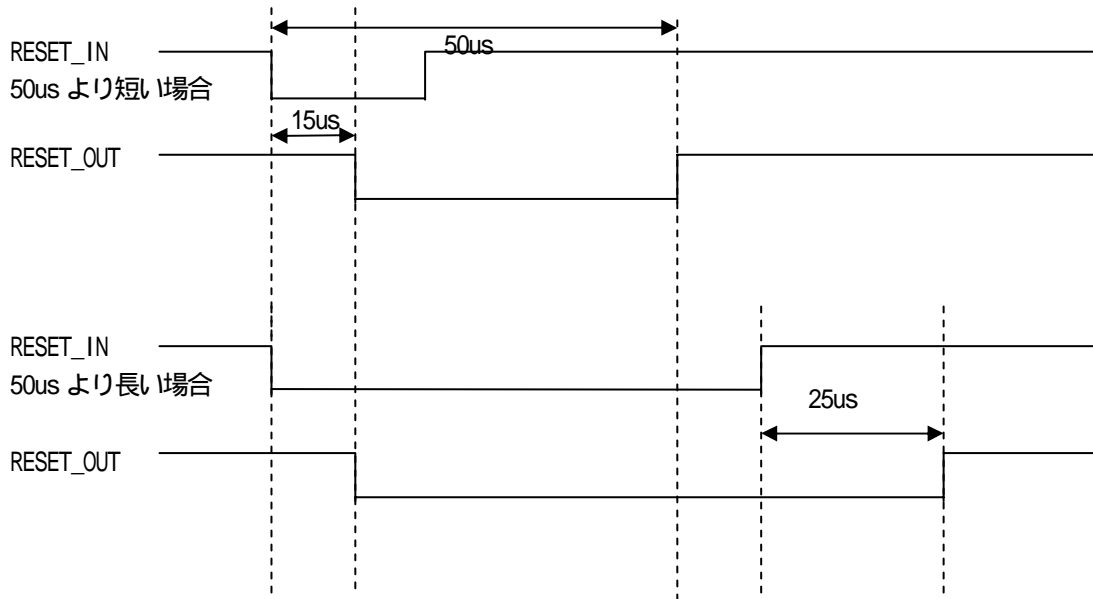
5 . 差分マニュアル

対象:QB-78KOMINI ユーザーズ・マニュアル 資料番号:U17029JJ2V0UM00

- ・全般
 - 誤) RESET
 - 正) RESET

 - 誤) RESET_OUT
 - 正) RESET_OUT
- ・P12~P14、P31、P39、P41
 - ・ OCD Checker は、CD-ROM に添付しました。
- ・P26、P27
 - 誤) プルダウン抵抗の値は、デバイスのユーザーズ・マニュアルを参照してください。
 - 正) プルダウン抵抗値は、470 以上にしてください。
- ・P43、P44
 - 第5章 制限事項 は全て以下の内容に差し替えてください。
 - (ア) ターゲット・リセット (RESET_IN) が解除されてからターゲット・デバイスのリセット (RESET_OUT) が解除されるまでの遅延は、モード引き込みのため、ターゲット・リセット (RESET_IN) の Low からターゲット・デバイス (RESET_OUT) の Hi までに 50us 程度の時間が必要です。
図 5 - 1 を参照してください。
 - (イ) ターゲット・リセット (RESET_IN) が入力されてからターゲット・デバイス (RESET_OUT) がリセットされるまでの遅延は 25us 程度の時間が必要です。
図 5 - 1 を参照してください。

図5-1 ターゲット・リセットのタイミング



- (ウ) X1, X2 端子を使用せずに、通常ポートにてオンチップ・ディバグ・モードに引き込む場合はポート2本が使用できません。
- (エ) ユーザ・プログラムのダウンロードは、セルフ書き込みによるフラッシュ・メモリ・プログラミングを行っています。ダウンロード時は、フラッシュ・メモリ・プログラミングの動作周波数範囲のクロックを使用してください。
- (オ) FLMD0 端子にはエミュレーション中常にハイ・レベルが与えられています。FLMD0 端子には必ずプルダウン抵抗を付け、ポートで操作する場合には、ハイ/ロウのレベルではなく、ハイ/ハイ・インピーダンスのレベルで操作してください。
- (カ) セルフチェック・ボード(1.0)^注を動作確認用として使用する場合の制限事項
 セルフチェック・ボードに実装しているマイコンの不具合に起因して、サブクロックおよびリングオシレータ動作時のエミュレータとの通信問題があります。その回避をディバグが擬似的に行っています。
 その回避方法は、ブレイクした際に強制的にメインクロック動作に切替えて、実行させた際に元のサブクロックあるいはリングオシレータ動作に戻すものです。
 その結果、ブレイク中は、常にメインクロック動作となります。

セルフチェック・ボードに実装しているマイコンの不具合に起因して、内部リセットが発生した場合にスタックポインタ未初期化のフェールセーフブレイク(Uninitialize Stack Pointer)が発生します。

【回避策】

ウォッチドックタイマの動作を停止させるか、もしくは、再カウント開始を繰り返して、ウォッチドックタイマによる内部リセットを発生させないで下さい。

注：セルフチェック・ボード上のデバイスに"QB-78K0KX1H-TB X.X"というシールが貼られています。その"X.X"の部分がバージョンをあらわしています。

6 . 注意事項

本製品の取り扱いに関する一般的な注意事項

a. 製品保障外となる場合

- ・ 本製品をお客様自身により分解，改造，修理した場合
- ・ 落下，倒れなど強い衝撃を与えた場合
- ・ 過電圧での使用，保障温度範囲外での使用，保障温度範囲外での保存
- ・ USB ケーブル，ターゲット・システムとの接続が不十分な状態で電源を投入した場合
- ・ USB ケーブル，接続ケーブルなどに過度の曲げ，引っ張りを与えた場合
- ・ システム構成で記載されている電源以外を使用した場合
- ・ 本製品を濡らしてしまった場合
- ・ 本製品の GND とターゲット・システムの GND に電位差がある状態で本製品とターゲット・システムを接続した場合
- ・ 本製品の電源投入中にコネクタやケーブルの抜き差しを行った場合
- ・ コネクタやソケットに過度の負荷を与えた場合

b. 安全上の注意

- ・ 長時間使用していると，高温（50～60 程度）になることがあります。低温やけどなど，高温になることによる障害にご注意ください。
- ・ 感電には十分注意をしてください。上記， a.製品保障外となる場合 に書かれているような使用方法をすると感電する恐れがあります。

以上